

森正一

もりしょういち

活動報告 第30号

発行日 平成30年10月9日 / 発行者 もり正一後援会 (討議資料)
連絡先 館山市八幡277-19 / TEL 090-2652-3218
ホームページ <http://www.awanew.com>



森正一 プロフィール

- ・昭和42年5月17日生まれ、50歳
- ・北条小、三中、安房高、東北大学工学部卒
- ・館山市議会議員、現在2期8年目
- ・総務委員会副委員長
- ・たてやま21・緑風会会派代表
- ・北条FC代表、館山市サッカー協会監事

はじめに

平成30年第3回定例会が8月24日から9月28日までの会期で開催されました。行政一般質問では、「市内公立学校等における熱中症対策」、「第三中学校の耐震化」、「子どもの季節性インフルエンザ予防接種の助成」、「スポーツ観光の推進」、「災害時における避難所の設置場所」について質問しました。今回は、「市内公立学校等における熱中症対策」、「第三中学校の耐震化」に関する一般質問項目に加え、平成29年度決算について、そして、その他とあわせてご報告させていただきます。

行政一般質問 1

質問・回答要旨・所感 ……



A 2. 各園・各校においては、日頃から、園児・児童・生徒や保護者に対し、熱中症予防についての注意喚起を行っている。具体的な対策としては、保育園等では保育室内の温度・湿度の適正管理、定期的な水分補給、帽子の着用などの注意喚起を行うとともに、学校においては、保健室便りや集会の場などにおいて、具合が悪くなった場合の対応方法について指導している。また、扇風機やミストシャワーの活用、気温が高い時には屋外での活動は控えるなど、熱中症予防に努めている。

市内公立学校等における熱中症対策に関して

Q 1. 市内公立小中学校等における、園児・児童・生徒の熱中症の発症状況は？

A 1. 今年度、各園・各校の園児・児童・生徒が医療機関で受診し、熱中症、あるいは熱中症の疑いがあると診断された件数は12件あり、その他、体調の不良を訴え、医療機関で受診はしなかったものの、一時休養、または、早退した園児・児童・生徒もいた。

Q 2. 市内公立小中学校等における熱中症対策は？

Q 3. 市内公立小中学校等におけるエアコンの整備状況は？

A 3. 小中学校では、保健室やパソコン教室、図書室など、一部の特別教室にエアコンを設置しているが、普通教室には設置しておらず、扇風機のみ設置している。また、保育園及びこども園については、全ての保育室にエアコンを設置している。幼稚園については、北条幼稚園の預かり保育室及び館山幼稚園の多目的室にはエアコンを設置しているが、その他の保育室には扇風機のみ設置している。

今年7月以降の猛暑の状況から、学校と幼稚園等に空調設備を整備し、子どもたちにとって学習しやすい環境を提供したいと考

えており、現在、国の交付金を活用した整備に向けて検討している。

《所感》今年の7月17日、愛知県豊田市の小学校で、校外学習から戻った1年の男子児童が倒れ、搬送先の病院で死亡しました。重度の熱中症である「熱射病」と診断されたそうです。この他にも、全国各地で学校管理化における熱中症による事故が多数発生しています。

熱中症は、重篤な状態になると、生命の危険が生じる疾病であり、年々、夏が暑くなっている中、園児や児童・生徒の命が失われるという悲劇を繰り返してはなりません。

文部科学省の調査によると、平成29年4月1日現在における、公立小中学校の普通教室のエアコン設置状況は、全国平均で49.6%、これに対して千葉県は44.5%と全国平均を下回っています。設置率トップの東京都は99.9%となっており、長崎、静岡、奈良などでは設置率が10%未満と低く、都道府県によって、教育環境の格差が驚くほど大きいことがわかります。

義務教育である小中学校の学習環境に、このような格差があってはならないことであり、子どもたちが、生命・身体の安全が守られない環境で学習することを強いられている状況を早急に改善しなくてはなりません。

南房総市と鴨川市では、館山市に先駆け、公立学校等にエアコンを整備するための予算計上を行っており、館山市においても早急に対応するように要望したところ、10月15日に開催予定の臨時会で、エアコン設置に向けた調

査委託費用等が補正予算に計上されることになりました。来年の夏までに設置が間に合うよう、引き続き、要望して参ります。

また、館山市議会としては、『小中学校や幼稚園等のエアコン設置へ国の予算拡充を求める意見書』を発議し、国に対して提出することを議決しています。

行政一般
質問
2

質問・回答要旨・所感……



第三中学校校舎の耐震化に関して

Q1. 基本設計業務委託の進捗状況は？

A1. 公募型プロポーザルにより、(株)横河建築設計事務所が受託し、基本設計業務が始まっている。現在、庁内関係課職員、学校職員及び受託事業者で構成する校舎改築検討会を開催し、校舎・武道場等の建物配置の検討を行っている。

Q2. 最適な避難方法の検討状況は？

A2. 7月9日に学校安全教育研究所の職員を講師に招き、教職員を対象とした災害時における危機管理に関する指導を受けるとともに、「大規模地震に対する防災・減災の在り方」をテーマに、生徒・保護者・教職員を対象とした防災に関する講演会

を実施した。その際、天井や壁等の崩落から身を守ることが重要であると指摘を受けたので、この点について理解し、敏速かつ安全に避難できるような訓練の実施を予定している。従来は避難場所である校庭まで素早く避難することを重視していたが、1次避難として教室内で机の下にもぐる際、あるいは、校庭や体育館にいる時には、窓や壁際から遠ざかり、2次避難では、教職員が避難経路の安全確認を行った後、落下物に注意し、ヘルメットやカバンで頭部を守りながら避難することを重点としていく。

《所感》基本設計はスタートしましたが、未だに有利な財源確保ができていないため、基本設計完了後すぐに実施設計に入れられない状況であり、耐震化の

完了がいつになるのか全く見えない状況です。また、専門家の指導により、最適な避難方法の検討を行ったのですが、校舎の倒壊・崩壊のリスクに対する対応ができていないため、倒壊・崩壊という最悪のケースが起こった場合には、多くの犠牲が出る可能性が大きいと思われます。

学校施設は、児童・生徒一日の大半を過ごす場所であるとともに、災害時における地域住民の避難場所となります。そして何よりも大切なのは、子どもたちの生命です。引き続き、第三中学校の早期耐震化の完了、生徒や職員の生命・身体的安全確保対策について強く要望して参ります。

平成29年度決算

一般会計	歳入189億2256万円	歳出177億4704万円	差引額 11億7552万円
特別会計	歳入150億6160万円	歳出141億6784万円	差引額 8億9376万円
市債残高	約226億5千万円（市民一人当たり約48万円の借金）		

平成29年度各会計決算が本会議最終日に承認されました。財政構造の弾力性を示す経常収支比率(自治体のエンゲル係数)は、前年度より2.4ポイント改善して95.8%となりました。平成28年度は県内ワースト2位であり(県内平均90.9%)、29年度は県内で下から8番目でした(県内平均91.0%)。この経常収支比率が100%に近いほど、新たな事業に対応する余裕が少なくなります。経常収支比率は依然として厳しい数字で

すが、財政健全化判断比率(「地方公共団体の健全化に関する法律」による)、下水道特別会計における資金不足比率は、健全化基準をクリアしており、「健全な比率である」との監査委員による審査結果となっています。また、市債残高は約227億円で、前年度より約5億円減少しており、このうちの約150億円(約66.2%)は交付税措置(国から補助)されるため、実質的な市の負債額は76億円程度になります。

【1】『館山市市民協働条例』について

その他



地方分権の進展や少子高齢化社会の到来、価値観の多様化等に対応し、個性あるまちづくりを推進するためには従来の行政主導の手法にとどまらず、市民や町内会等の各種市民団体と行政が信頼関係を構築し、相互の連携・協働の強化が求められています。

館山市においても、町内会やコミュニティ委員会、NPO、ボランティア団体等が自主的に活動し、また、市民の協力と連携が市の事業の推進に大きな力となっています。

今後これらを更に発展させ、市民の自発的な活動を支援していくためには、市民と行政がその目的を共有し、取り組んでいくことが重要となることから、『館山市市民協働条例』を制定しました。

この条例では、市の基本的な方針を決める場合や市民生活に直接大きな影響を与える条例などを制定・改正する場合などには、市民の意見を審議会やパブリックコメントなどで聴くこととしているほか、新たな取り組みとして、地域の課題解決策などに対して市民から提案ができるようになります。また、市から市民に対して施策の提案を求めることも規定されています。

この条例の制定により、市民が市政により参加しやすくなりますので、市政に関心を持ち、積極的に市政に参加していただければと思います。

【2】新給食センターの整備について



新学校給食センターの施設整備・運営をPFI方式によって実施することに方針決定しました。10月15日に予定されている臨時会において、予算措置に関する補正予算議案が可決されれば、年内に公募型プロポーザルによる事業者の選定を行い、2020年9月の稼働開始へ向けて事業を進めていくこととなります。

※PFIとは『民間資金等を活用した社会資本整備』のことで、民間企業が主導し、その資金調達、経営管理等のノウハウを活用する新たな社会資本整備手法のことです。

終わりに



2期目の任期も残すところあと半年ほどになりましたが、前回の選挙の時に掲げた目標のうち、実現できていないことや一般質問等により議会の中で取り上げていないことがまだまだ多く残っています。残り少ない任期の中ではありますが一つでも多くの目標が達成できるよう、また、提案していけるよう頑張っていきたいと思っています。

これからも市民の皆様のご意見・ご要望を市政に反映し、市民に寄り添った議員活動と議会活動を心がけて参りますので、温かいご支援とご指導をよろしくお願いたします。